

2015年3月30日

報道関係各位

東和薬品株式会社

## 東和薬品の寄付による東京大学「革新分子技術」総括寄付講座を開設

東和薬品株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長：吉田逸郎）は、東京大学が部局横断で全学部的に取り組む寄付講座に寄付をおこない、2015年4月1日に東京大学大学院理学系研究科中村栄一教授を代表とする「革新分子技術」総括寄付講座（総長室総括プロジェクト機構内）を開設いたしました。

### 【背景・目的】

高齢社会の到来に伴い、高齢人口の増加による医療への需要が増大するとともに、医療の高度化、国民の医療に対する要求水準の高まりの中で、医療の質を維持しつつ効率化を図り、快適な健康長寿社会を実現することが求められています。その中で、医療費負担の軽減の必要性が増してきており、そのためにも各疾患の治療で基本的に今後何十年も使われ続けられる有用な薬剤を基盤医薬品と位置付けて、低価格で高品質な、さらに患者さまが服用しやすいなど付加価値のある基盤医薬品を効率的な技術開拓により次々と生み出すとともに、安定供給、品質に対する信頼性を確保することが重要になっています。この課題に対して、重要性を認識しながらもこれまで実践的な研究ができていませんでした。その中で、本講座の代表でいらっしゃる中村教授が取り組まれている分子技術の革新、化学的アプローチによる革新的な技術の開拓により、基盤医薬品および医療イノベーションの創出を目指す、というテーマに共感し、本総括寄付講座として他3社と共に支援することといたしました。このような機会を得ましたことは、当社のみならず日本の医薬品・医療の技術革新と国内の技術力の向上による医療産業育成、および世界での日本のプレゼンスの向上が期待され大変意義深いものと考えています。

さらに本講座は、労働人口の減少、エネルギー資源の枯渇などを起源とする社会的ニーズに答えるライフ・エネルギーイノベーションを下支えする一連の創製技術の開拓において、革新的な分子技術を駆使した産業と医療システムを創出するとともに、分子技術イノベーションを実践し、将来の日本をリードしてくれる国際的な若手人材の育成も期待しています。

### 【総括寄付講座の概要】

1. 設置期間 2015年4月1日～2022年3月31日（7年間）
2. 設置場所 東京大学総括プロジェクト機構
3. 寄付講座の名称  
「革新分子技術」総括寄付講座  
（英文名：Molecular Technology Innovation）
4. 寄付者 東和薬品株式会社、他3社

# NEWS RELEASE

- 5. 代表教員 中村栄一 大学院理学系研究科教授（兼任）
- 6. 講座教員 特任准教授ほか公募
- 7. 連携部局 大学院理学系研究科、大学院工学系研究科、大学院医学系研究科、医学部附属病院

## 【研究課題】

- 1. 低コスト・高効率、低環境負荷で分子を探索・合成する斬新な技法開拓
- 2. 「分子を見る」斬新な電子顕微鏡科学の創出
- 3. 革新的な合成手法の開発
- 4. 次世代低コスト材料・エネルギー・デバイスの創出

その他、総括寄付講座の詳細につきましては、東京大学からの発表資料（添付資料）をご参照ください。

## 《会社概要》

- 社名 東和薬品株式会社
- 本社 〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号
- 代表者名 代表取締役社長 吉田逸郎
- 事業内容 医療用医薬品（ジェネリック医薬品）の製造・販売
- 自社製品数 661品目（平成26年12月現在）
- 従業員数 1,862名（平成26年10月1日現在）

## ＜お問い合わせ先＞

東和薬品株式会社 広報室  
〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号  
TEL: 06-6900-9102 / FAX: 06-6908-6060  
E-mail: kouhou@towayakuhin.co.jp

（東和薬品発表）

(添付資料)

平成 27 年 3 月 30 日

各位

## 東京大学「革新分子技術」総括寄付講座の開設について

国立大学法人東京大学

東京大学は、東和薬品株式会社、日本電子株式会社、三菱化学株式会社、株式会社地球快適化インスティテュートのご寄付により、平成 27 年 4 月 1 日に「革新分子技術」総括寄付講座を東京大学総括プロジェクト機構（注 1）内に設置いたしました。

### 総括寄付講座の概要

1. 設置期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日（7 年間）
2. 設置場所 東京大学総括プロジェクト機構
3. 寄付講座の名称  
「革新分子技術」総括寄付講座  
(英文名: Molecular Technology Innovation)
4. 寄付者 東和薬品株式会社、日本電子株式会社、三菱化学株式会社、株式会社地球快適化インスティテュート
5. 代表教員 中村 栄一 大学院理学系研究科教授（兼任）
6. 講座教員 特任准教授ほか公募
7. 連携部局 大学院理学系研究科、大学院工学系研究科、大学院医学系研究科、医学部附属病院

本講座は、部局横断型の全学的な寄付講座として設置されます。分子技術の革新により、資源利用の低エネルギー化、太陽光ならびにユビキタス元素（注 2）の有効利用の道筋や医療イノベーション創出を確立していきます。また、ライフ・エネルギー分子技術イノベーションを実践できる国際的な若手人材の育成を行います。

本講座では、高齢化による医療費増大、労働人口減少、エネルギー資源の枯渇等を起源とする社会的ニーズに応える「快適・健康社会」の実現に向けて、学術および産業において「革新分子技術」の研究を行います。ライフ・エネルギーイノベーションを下支えする一連の材料創製技術に対し、先端的な分子技術を駆使して「快適・健康社会実現の社会ニーズ」に応える産業と医療システムを生み出すとともに、分子技術

を基本とした化学的アプローチの開拓に意欲を持つ国際的な若手人材を育成していきます。

社会的ニーズに応えるため、本講座が取り組む具体的な研究課題例は次の通りです。

- |      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 課題 1 | 低コスト・高効率、低環境負荷で分子を探索・合成する斬新な技法開拓 |
| 課題 2 | 「分子を見る」斬新な電子顕微鏡科学の創出             |
| 課題 3 | 革新的な合成手法の開拓                      |
| 課題 4 | 次世代低コスト材料・エネルギー・デバイスの創出          |

(期待される成果)

「分子を見る」分子科学を進展させることにより、これまで試行錯誤に頼ってきた分子科学から分子技術への展開が合理的、合目的に行われるようになります。この分子技術の革新により、資源利用の低エネルギー化、太陽光ならびにユビキタス元素（注2）の有効利用や医療イノベーション創出の実現に貢献します。また、低価格で高品質な材料や基盤医薬品を安定的に供給するための革新的な合成手法を開拓し、産業競争力のある物質・材料の創出を実現するとともに、精密有機合成、電子顕微鏡科学、電子デバイス科学など分野横断型の素養を身につけた、ライフ・エネルギー分子技術イノベーションを先導する国際的な若手人材を育成します。

(注1) 東京大学総括プロジェクト機構： 全学として推進すべき研究プロジェクトについて、総長直轄の寄付研究部門または研究部門を設け、総括することを目的とした研究組織。寄付研究部門、学内研究連携ユニットより成る。

(注2) ユビキタス元素： 酸素、珪素、アルミニウム、鉄など、資源面から見て、ありふれた入手しやすい元素のこと。

### 問い合わせ先

(発表に関する問い合わせ先)

東京大学大学院理学系研究科化学専攻  
教授 中村 栄一 TEL: 03-5841-4356

E-mail: nakamura@chem.s.u-tokyo.ac.jp

(取材に関する問い合わせ先)

東京大学 大学院理学系研究科・理学部  
特任専門職員 武田加奈子、広報室副室長（准教授）横山広美  
TEL : 03-5841-8856 E-mail : kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp